

がくしゅう APUでの学修

1) 学年暦

本学の学年暦は4月から始まります。1学年は2つのセメスターに分かれ、それぞれのセメスターは2つのクォーターとセッションに分かれています。授業の開講時期はおおむね以下の通りとなります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春セメスター						秋セメスター					
第1クォーター		第2クォーター		夏セッション		第1クォーター		第2クォーター		冬セッション	

※土曜日や祝日も授業日を設定することがあります。

2) APUでの学修

APUは、「自由・平和・ヒューマニティ」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として、教育・研究活動を展開しています。更に、この基本理念のもとに、アジア太平洋学部、国際経営学部それぞれに、学部の人材育成目的を定め、国際社会においてリーダーとして活躍できる人材を育成するために必要なカリキュラムを提供しています。

① 学部での学修について

卒業するためには、それぞれ定められた科目分野の単位数を修得し、合計で124単位以上修得する必要があります。カリキュラムや入学基準言語、国内学生・国際学生の別によって、卒業に必要な条件や履修できる科目が異なります。2017年度以降に新入生として入学する学生の皆さんは、2017年度カリキュラムが適用されます。2016年度までの入学者とは異なるカリキュラムとなりますので注意してください。なお、2017年度カリキュラムの内容は変更となる可能性があります。詳細については入学後のガイダンスにてお知らせいたします。

(1) アジア太平洋学部 (APS)

学位

アジア太平洋学部 (APS) の卒業要件を満たした者には、以下の「学士」の学位が与えられます。

学位
学士 (アジア太平洋学)

学修分野

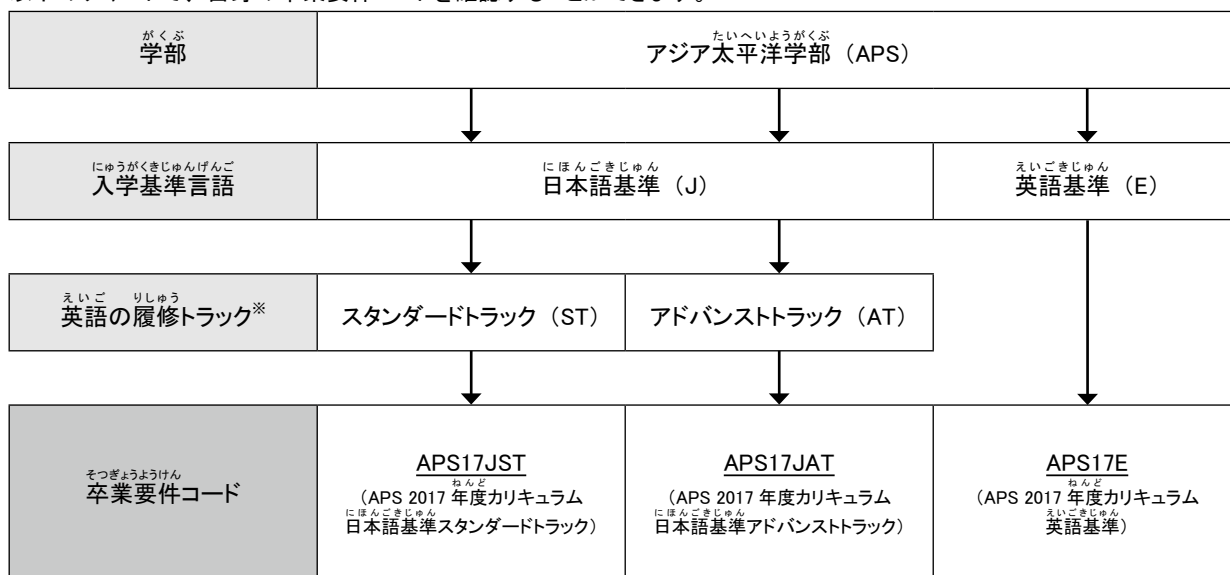
アジア太平洋地域の多様な文化、歴史、社会、自然環境や歴史情勢などに関する基礎知識や言語運用能力を核として、アジア太平洋地域の諸問題に関する専門性や総合的な問題解決能力を形成するため、下記の4つの学修分野を設置しています。

アジア太平洋学部の卒業要件の1つとして、下記の学修分野から自分の希望する分野1つを選択し、当該学修分野の必修科目 (共通教養科目) を2単位以上、および当該学修分野の専門教育科目を28単位以上修得することが定められています。選択した学修分野の名称は学位記に記載されます。学修分野の申請はCampusmateを通じて行います。なお、申請できる学修分野は1つのみです。

APS 学修分野	
環境・開発	Environment and Development
観光学	Hospitality and Tourism
国際関係	International Relations and Peace Studies
文化・社会・メディア	Culture, Society and Media

●卒業要件コードの確認方法 (APS: 2017年度カリキュラム)

以下のチャートで、自身の卒業要件コードを確認することができます。



*日本語基準学生の英語科目の履修は、入学時のプレースメントテストの結果により、履修トラックと履修開始レベルが決定されます。

履修開始レベル	履修トラック
「英語初級 A・B」～「英語準上級 A・B」のいずれか	スタンダードトラック
「英語上級 1A・1B」か「英語上級 2A・2B」	アドバンストラック

●卒業要件 (APS: 2017年度カリキュラム)

アジア太平洋学部 (APS) を卒業するためには、下表の自身の卒業要件コードの列に○が付されている要件を全て満たす必要があります。

No.	卒業要件	アジア太平洋学部 (APS)		
		APS17JST	APS17JAT	APS17E
1	合計 124 単位以上を修得していること	○	○	○
2	言語必修科目の単位を全て修得していること (もしくは履修免除されていること)	○	○	○
3	各科目分野の必要単位数を修得していること ^{※1}	○	○	○
4	英語開講科目を 20 単位以上修得していること ^{※2} (日本語基準国内学生のみ)	○	○	—
5	自身が選択した学修分野の必修科目 (共通教養科目) を 2 単位以上修得していること	○	○	○
6	自身が選択した学修分野の専門教育科目を 28 単位以上修得していること	○	○	○

※ 1 各科目分野で卒業に必要な単位

APS17JST

科目分野		必要単位数	合計
共通教育科目	英語	24 単位	124 単位以上
	共通教養科目	16 単位	
	言語教育科目および共通教養科目	0 単位	
APS 専門教育科目		62 単位	
他学部科目		0 単位	
要卒集計外科目		0 単位	

APS17JAT

科目分野		必要単位数	合計
共通教育科目	英語	12 単位	124 単位以上
	共通教養科目	16 単位	
	言語教育科目および共通教養科目	12 単位	
APS 専門教育科目		62 単位	
他学部科目		0 単位	
要卒集計外科目		0 単位	

APS17E

科目分野		必要単位数	合計
共通教育科目	日本語	16 単位	124 単位以上
	共通教養科目	16 単位	
	言語教育科目および共通教養科目	8 単位	
APS 専門教育科目		62 単位	
他学部科目		0 単位	
要卒集計外科目		0 単位	

- ※ 2 日本語基準国内学生は、英語で開講される共通教養科目もしくは専門教育科目（自学部および他学部科目）を 20 単位以上修得することが必要です。言語教育科目や両言語開講科目（E/J）は、英語開講科目として認められません。なお、日本語基準国際学生はこの英語開講科目 20 単位以上修得の要件を満たす必要はありません。日本語基準学生は国内学生も国際学生もともに、英語開講科目を履修するためには「英語中級 A・B」の単位修得（もしくは履修免除されていること）が必要です。ただし、スタンダードトラックの日本語基準国内学生のみが受講できる「APSブリッジプログラム」については、英語開講科目ですが、「英語準中級 A・B」修得後から履修可能です。「APSブリッジプログラム」は「英語準中級 A・B」修得後から「英語準上級 A・B」を修得するまでのセメスターで履修科目登録をすることができます。一度修得すると、再度履修科目登録をすることはできません。

2017年度カリキュラム図 APS

		100 (1回生)						
共通教育科目	言語	英語 スタンダードトラック	英語初級A 英語初級B 英語準中級A 英語準中級B	4 2 4 2				
		英語 アドバンスドトラック	英語上級1A 英語上級1B 英語上級2A 英語上級2B	4 2 4 2				
	教育	日本語	日本語初級Ⅰ 日本語初級Ⅱ 日本語初級Ⅲ 日本語中級	4 4 4 4				
		AP言語	中国語Ⅰ 韓国語Ⅰ マレー語・インドネシア語Ⅰ スペイン語Ⅰ	4 4 4 4	タイ語Ⅰ ベトナム語Ⅰ	4 4		
		特定講義	海外集中言語研修 アジア太平洋言語入門	2 2	特殊講義 (言語教育科目)	2		
	共通教育科目	APU リテラシー	スタディスキル・アカデミックライティング 多文化協働ワークショップ 平和・ヒューマニティ・民主主義 異文化間コミュニケーション入門	2 2 2 2	異文化フィールドワークⅠ 異文化フィールドワークⅡ 多文化比較論 ピアリーダートレーニング入門	2 2 2 2	ピアリーダートレーニングⅠ 海外学習デザイン APSブリッジプログラム	2 2 2
			世界市民基盤	アジア太平洋学系	アジア太平洋の言語 アジア太平洋の宗教	2 2	アジア太平洋の地理 アジア太平洋の文化と社会	2 2
日本学系		日本の地理 日本の文化と社会		2 2	日本の歴史 日本の経済	2 2	日本国憲法 特殊講義 (日本学)	2 2
基礎系		法学		2	心理学	2	生命倫理	2
学部専攻入門系		文化・社会学入門 ● (CSM) メディア入門 ● (CSM) 国際関係論入門 ● (IRP)		2 2 2	政治学入門 開発学入門 ● (ED) 環境学入門 ● (ED)	2 2 2	観光学入門 ● (HT) 経済学入門	2 2
社会ニーズ対応		基礎スキル系	統計学 ネゴシエーションスキル	2 2	ロジカルシンキングとフレームワーク キャリア・デザインⅠ	2 2	特殊講義 (共通教育科目)	2
		ICT系	インターネット入門 コンピューターリテラシー	2 2	プログラミング	2		
APS 専門教育科目		コア科目 (*1)		APS入門	2	地域研究入門	2	
		環境・開発 (ED)						
		観光学 (HT)						
	国際関係 (IRP)							
	文化・社会・メディア (CSM)							
	APS共通A (*1)							
	APS共通B (*2)							
	演習 (*2)							

かくがくしゅうぶんや ひっしゅうかもく
●各学修分野の必修科目

- *1 「コア科目」または「APS 共通 A」に配置された科目を履修して修得した単位は、いずれの学修分野やにも集計されません。
 *2 「APS 共通 B」または「演習」に配置された科目を履修して修得した単位は、全ての学修分野に集計されます。

200 (2 回生)		300 (3 回生)		400 (4 回生)	
英語中級A	4	英語ビジネスライティング	2	ジャーナリズムのための英語	2
英語中級B	2	英語ビジネスプレゼンテーション	2		
英語準上級A	4	英語ディスカッションとディベート	2		
英語準上級B	2	英語プロジェクト1	2		
ビジネス英語1	2	メディアのなかの英語	2	英語プロジェクト2	2
ビジネス英語2	2				
英語多読	2				
日本語中上級	4	日本語プロジェクトD	2	キャリア日本語	4
日本語上級	4	日本語プロジェクトE	2	日本語ビジネスコミュニケーションA	2
日本語プロジェクトA	2	日本語プロジェクトF	2	日本語ビジネスコミュニケーションB	2
日本語プロジェクトB	2	講義の日本語	2		
日本語プロジェクトC	2	日本語・日本文化	2		
		日本語・日本社会	2		
中国語Ⅱ・Ⅲ	4・4	タイ語Ⅱ・Ⅲ	4・4	中国語Ⅳ	4
韓国語Ⅱ・Ⅲ	4・4	ベトナム語Ⅱ・Ⅲ	4・4	韓国語Ⅳ	4
マレー語・インドネシア語Ⅱ・Ⅲ	4・4			タイ語Ⅳ	2
スペイン語Ⅱ・Ⅲ	4・4			ベトナム語Ⅳ	2
日本語教育のための日本語学	2	TESOL	2		
日本語教授法	2	英語検定試験対策講座Ⅰ	2		
国連公用語概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	2・2・2	英語検定試験対策講座Ⅱ	2		
		英語検定試験対策講座Ⅲ	2		
ピアリーダートレーニングⅡA	2				
ピアリーダートレーニングⅡB	2				
茶道	2	日本の伝統芸能	2		
華道	2				
環境科学	2	ウェルネス	2		
メディア制作ラボ	2	インターンシップ	2	キャリア・デザインⅢ	2
ボランティア研究	2	キャリア・デザインⅡ	2	キャリア・デザインⅣ	2
データマイニング	2	インターネット技術統合	2	データベースシステム	2
GIS入門	2			特殊講義 (ICT)	2
生物多様性	2	開発社会学・人類学	2	産業生態学	2
地球環境問題	2	国際協力論	2	環境モデリング	2
環境と社会	2	開発政治論	2	GISとリモートセンシング	2
都市環境と開発	2	紛争と開発	2	開発のプロジェクト・マネジメント	2
エコ・ツーリズム論	2	環境・開発 フィールド・スタディ	2	資源マネジメント	2
コミュニティ・ベース・ツーリズム	2			環境コミュニケーション	2
基礎演習 (環境・開発)	2			環境経済学	2
				環境政策	2
				開発政策	2
観光社会学	2	コミュニティ・ベース・ツーリズム	2	観光経済学	2
旅行産業論	2	ホスピタリティ・マーケティング	2	観光開発と計画	2
遺産観光論	2	ホスピタリティ・マネジメント	2	リゾート開発	2
観光文化論と観光史	2	イベントマネジメント	2	開発のプロジェクト・マネジメント	2
エコ・ツーリズム論	2	観光学 フィールド・スタディ	2	オペレーションズ・リサーチ	2
文化人類学	2			組織行動論(上級)	2
基礎演習 (観光学)	2			観光とウェルネスツーリズム	2
				観光地マーケティングとマネジメント	2
国際関係理論	2	国際法	2	観光学 特殊講義	2
国際協力論	2	国際問題と政策	2	アジア太平洋における国際関係	2
人権論	2	紛争と開発	2	冷戦後の紛争と地政学	2
政治理論	2	平和学	2	グローバルメディアと紛争	2
開発政治論	2	グローバル化と地域主義	2	国際機構論	2
アジア太平洋の比較政治経済	2	国際関係 フィールド・スタディ	2	開発政策	2
国際政治史	2			暴力とテロリズム	2
基礎演習 (国際関係)	2			アジア太平洋地域システム論	2
				国際政治経済学	2
				アイデンティティと政治	2
				メディアと政治	2
				エスニシティと国民国家	2
				国際関係 特殊講義	2
社会理論	2	カルチュラルスタディーズ	2	ジェンダー研究	2
社会心理学	2	メディアと文化	2	宗教と信仰	2
社会階層論	2	メディアと法	2	アイデンティティと政治	2
国際社会学	2	ニューメディアと社会	2	グローバル化と地域主義	2
文化人類学	2	人文学と近代	2	基礎演習(文化・社会・メディア)	2
グローバル・ヒストリー	2	言語と社会	2	文化・社会・メディア フィールド・スタディ	2
グローバル化と地域主義	2	文化・社会・メディア フィールド・スタディ	2		
基礎演習(文化・社会・メディア)	2				
特殊講義 (専門教育科目)	2	APSフィールド・スタディ	2		
地域研究	2			プロジェクト研究	2
調査研究入門	2			専門演習Ⅰ	2
				専門演習Ⅱ	2
				卒業研究Ⅰ	2
				卒業研究Ⅱ	4

こくさいけいえいがくぶ
(2) 国際経営学部 (APM)

**がくい
 学位**

こくさいけいえいがくぶ そつぎょうようけん み もの い か がくし がくい あた
 国際経営学部 (APM) の卒業要件を満たした者には、以下の「学士」の学位が与えられます。

がくい 学位
がくし 学士 (経営学)

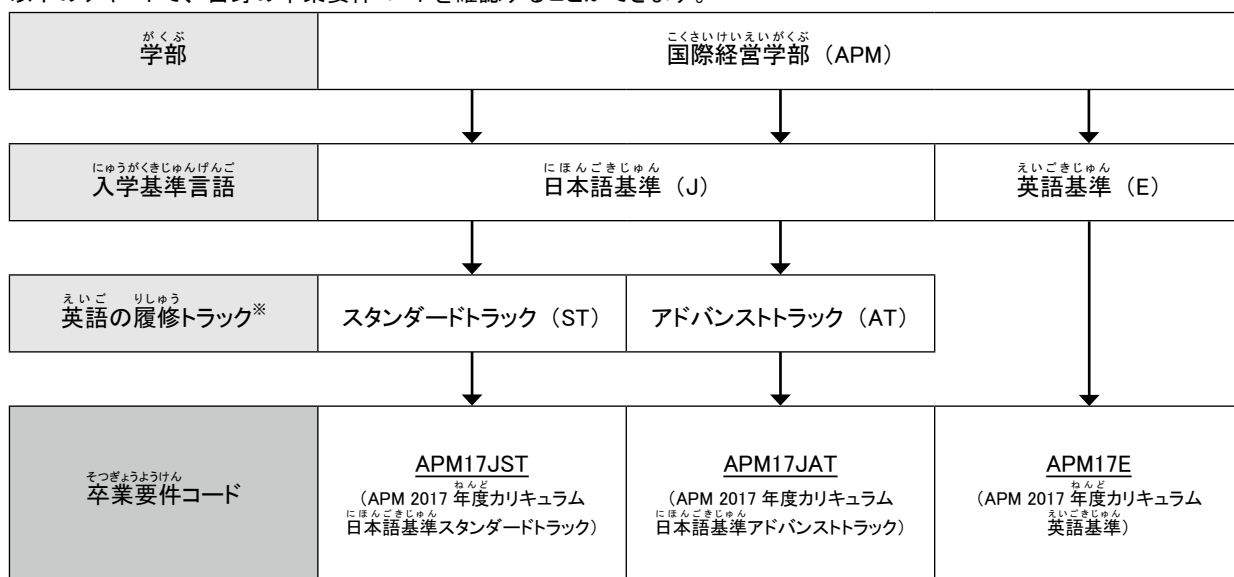
**がくしゅうぶん や
 学修分野**

たよう しゃかい ぶんか でんとう ふか りかい けいえいがく かん ちしき か しやかい なか きまざま
 多様な社会、文化、伝統への深い理解および経営学に関する知識をもち、グローバル化するビジネス社会の中で様々な
 背景をもった人々とコミュニケーションをとりながら経営問題を発見し解決できる能力、高い職業倫理を備えた人材を育成す
 るため、下記の4つの学修分野を設置しています。
 かくがくしゅうぶんや はいち がもく たんい いじょう えんしゅうかもく たんい ふく しゅうとく ぼあい りしゅう
 各学修分野に配置された科目から12単位以上（演習科目は4単位まで含めることができます）修得した場合、履修し
 た当該分野の名称が学位記へ記載されます。ただし、学位記へ記載するためには、Campusmate から自分の希望する
 がくしゅうぶんや しんせい ひつよう しんせい がくしゅうぶんや
 学修分野を申請する必要があります。なお、申請できる学修分野は1つのみです。

がくしゅうぶんや APM 学修分野	
かいけい 会計・ファイナンス	Accounting and Finance
マーケティング	Marketing
けいえいせんりやく そしき 経営戦略と組織	Strategic Management and Organization
イノベーション・経済学	Innovation and Economics

●卒業要件コードの確認方法 (APM：2017年度カリキュラム)

以下のチャートで、自身の卒業要件コードを確認することができます。



*日本語基準学生の英語科目の履修は、入学時のプレースメントテストの結果により、履修トラックと履修開始レベルが決定されます。

履修開始レベル	履修トラック
「英語初級 A・B」～「英語準上級 A・B」のいずれか	スタンダードトラック
「英語上級 1A・1B」か「英語上級 2A・2B」	アドバンストラック

●卒業要件 (APM：2017年度カリキュラム)

国際経営学部 (APM) を卒業するためには、下表の自身の卒業要件コードの列に○が付されている要件を全て満たす必要があります。

No.	卒業要件	国際経営学部 (APM)		
		APM17JST	APM17JAT	APM17E
1	合計 124 単位以上を修得していること	○	○	○
2	必修言語科目の単位を全て修得していること (もしくは履修免除されていること)	○	○	○
3	各科目分野の必要単位数を修得していること*1	○	○	○
4	英語開講科目を 20 単位以上修得していること*2 (日本語基準国内学生のみ)	○	○	—
5	APM 必修科目を全て修得していること	○	○	○
6	APM 必修科目 (数学) を少なくとも 2 単位修得していること	○	○	○

※ 1 各科目分野で卒業に必要な単位

APM17JST

科目分野		必要単位数	合計
共通教育科目	英語	24 単位	124 単位以上
	共通教養科目	16 単位	
	言語教育科目および共通教養科目	0 単位	
APM 専門教育科目	必修専門教育科目	20 単位	
	専門教育科目	42 単位	
他学部科目		0 単位	
要卒集計外科目		0 単位	

APM17JAT

科目分野		必要単位数	合計
共通教育科目	英語	12 単位	124 単位以上
	共通教養科目	16 単位	
	言語教育科目および共通教養科目	12 単位	
APM 専門教育科目	必修専門教育科目	20 単位	
	専門教育科目	42 単位	
他学部科目		0 単位	
要卒集計外科目		0 単位	

APM17E

科目分野		必要単位数	合計
共通教育科目	日本語	16 単位	124 単位以上
	共通教養科目	16 単位	
	言語教育科目および共通教養科目	8 単位	
APM 専門教育科目	必修専門教育科目	20 単位	
	専門教育科目	42 単位	
他学部科目		0 単位	
要卒集計外科目		0 単位	

※ 2 日本語基準国内学生は、英語で開講される共通教養科目もしくは専門教育科目（自学部および他学部科目）を 20 単位以上修得することが必要です。言語教育科目や両言語開講科目（E/J）は、英語開講科目として認められません。なお、日本語基準国際学生はこの英語開講科目 20 単位以上修得の要件を満たす必要はありません。日本語基準学生は国内学生、国際学生とともに、英語開講科目を履修するためには「英語中級 A・B」の単位修得（もしくは履修免除されていること）が必要です。ただし、スタンダードトラックの日本語基準国内学生のみが受講できる「APMブリッジプログラム」については、「英語開講科目」ですが、「英語準中級 A・B」修得後から履修可能です。「APMブリッジプログラム」は「英語準中級 A・B」修得後から「英語準上級 A・B」を修得するまでのセメスターで履修科目登録をすることができます。一度修得すると、再度履修科目登録をすることはできません。

ねん ず
2017年度カリキュラム図 APM

		100 (1回生)							
共通教育科目	言語	英語 スタンダードトラック	英語初級A 英語初級B 英語準中級A 英語準中級B	4 2 4 2					
		英語 アドバンスドトラック	英語上級1A 英語上級1B 英語上級2A 英語上級2B	4 2 4 2					
	教育	日本語	日本語初級Ⅰ 日本語初級Ⅱ 日本語初級Ⅲ 日本語中級	4 4 4 4					
		AP言語	中国語Ⅰ 韓国語Ⅰ マレー語・インドネシア語Ⅰ スペイン語Ⅰ	4 4 4 4	タイ語Ⅰ ベトナム語Ⅰ	4 4			
	科目	特定講義	海外集中言語研修 アジア太平洋言語入門	2 2	特殊講義 (言語教育科目)	2			
		APU リテラシー	スタディスキルアカデミックライティング 多文化協働ワークショップ 平和・ヒューマニティ・民主主義 異文化間コミュニケーション入門	2 2 2 2	異文化フィールドワークⅠ 異文化フィールドワークⅡ 多文化比較論 ピアリーダートレーニング入門	2 2 2 2	ピアリーダートレーニングⅠ 海外学習デザイン APMブリッジプログラム	2 2 2	
	共通 教養 科目	世界市民基盤	アジア太平洋学系	アジア太平洋の言語	2	アジア太平洋の地理	2	アジア太平洋の歴史	2
				アジア太平洋の宗教	2	アジア太平洋の文化と社会	2	アジア太平洋の経済	2
			日本学系	日本の地理	2	日本の歴史	2	日本国憲法	2
				日本の文化と社会	2	日本の経済	2	特殊講義 (日本学)	2
基礎系			法学	2	心理学	2	生命倫理	2	
学部専攻入門系		文化・社会学入門	2	政治学入門	2	観光学入門	2		
		メディア入門 国際関係論入門	2 2	開発学入門 環境学入門	2 2	経済学入門 ★	2		
社会ニーズ対応	基礎スキル系	統計学 ★ ネゴシエーションスキル	2 2	ロジカルシンキングとフレームワーク キャリア・デザインⅠ	2 2	特殊講義 (共通教養科目)	2		
	ICT系	インターネット入門 コンピューターリテラシー	2 2	プログラミング	2				
APM 専門 教育 科目	必修科目 (*1)	経営学入門 ★ 基礎数学 ☆ 会計学Ⅰ ★	2 2 2	マーケティング入門 ★	2				
	会計・ファイナンス (AF)								
	マーケティング (M)								
	経営戦略と組織 (SMO)								
	イノベーション・経済学 (IE)								
	APM共通 (*1)								
	演習 (*2)								

必修科目
★必修科目
 必修科目 (数学)
☆必修科目 (数学)

- *1 「必修科目」または「APM 共通」に配置された科目を履修して修得した単位はいずれの学修分野にも集計されません。
 *2 「演習」に配置された科目を履修して修得した単位は、全ての学修分野に集計されます。

200 (2 回生)		300 (3 回生)		400 (4 回生)			
英語中級A	4		英語ビジネスライティング	2	ジャーナリズムのための英語	2	
英語中級B	2		英語ビジネスプレゼンテーション	2			
英語準上級A	4		英語ディスカッションとディベート	2			
英語準上級B	2		英語プロジェクト1	2			
ビジネス英語1	2	メディアのなかの英語	2	英語プロジェクト2	2		
ビジネス英語2	2						
英語多読	2						
日本語中上級	4	日本語プロジェクトD	2	キャリア日本語	4		
日本語上級	4	日本語プロジェクトE	2	日本語ビジネスコミュニケーションA	2		
日本語プロジェクトA	2	日本語プロジェクトF	2	日本語ビジネスコミュニケーションB	2		
日本語プロジェクトB	2	講義の日本語	2				
日本語プロジェクトC	2	日本語・日本文化	2				
		日本語・日本社会	2				
中国語Ⅱ・Ⅲ	4・4	タイ語Ⅱ・Ⅲ	4・4	中国語Ⅳ	4	タイ語Ⅳ	2
韓国語Ⅱ・Ⅲ	4・4	ベトナム語Ⅱ・Ⅲ	4・4	韓国語Ⅳ	4	ベトナム語Ⅳ	2
マレー語・インドネシア語Ⅱ・Ⅲ	4・4			マレー語・インドネシア語Ⅳ	2		
スペイン語Ⅱ・Ⅲ	4・4			スペイン語Ⅳ	2		
日本語教育のための日本語学	2	TESOL	2				
日本語教授法	2	英語検定試験対策講座Ⅰ	2				
国連公用語概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	2・2・2	英語検定試験対策講座Ⅱ	2				
		英語検定試験対策講座Ⅲ	2				
ピアリーダートレーニングⅡA	2						
ピアリーダートレーニングⅡB	2						
茶道	2	日本の伝統芸能	2				
華道	2						
環境科学	2	ウェルネス	2				
メディア制作ラボ	2	インターンシップ	2	キャリア・デザインⅢ	2		
ボランティア研究	2	キャリア・デザインⅡ	2	キャリア・デザインⅣ	2		
データマイニング	2	インターネット技術統合	2	データベースシステム	2		
GIS入門	2			特殊講義 (ICT)	2		
上級数学 ☆	2	生産管理論 ★	2	ビジネスエシックス ★	2		
金融論 ★	2	ビジネス法務戦略 ★	2			グローバル	2
人材と組織行動のマネジメント ★	2					マネジメント	
						(Capstone) ★	
会計学Ⅱ	2	原価会計	2	管理会計論	2	金融市場と金融制度	2
財務会計論Ⅰ	2	コーポレート・ファイナンス	2	上級会計	2	国際金融論	2
財務会計論Ⅱ	2			国際会計	2	投資・証券分析	2
				監査	2	投資戦略	2
				会計 特殊講義	2	ファイナンス 特殊講義	2
Eコマース	2	消費者行動論	2	国際物流論	2	製品開発論	2
マーケティング・リサーチ	2	販売・プロモーションマネジメント	2	国際マーケティング論	2	マーケティング 特殊講義	2
ブランドマネジメント	2	サプライ・チェーン・マネジメント	2	サービスマネジメント	2		
ブランドマネジメント	2	経営戦略論	2	サービスマネジメント	2	組織行動論(上級)	2
アントレプレナーシップ	2	サプライ・チェーン・マネジメント	2	国際取引	2	人材マネジメント(上級)	2
				ファミリービジネス	2	経営戦略と組織 特殊講義	2
				国際物流論	2		
マクロ経済学	2	アントレプレナーシップ	2	製品開発論	2	アジア経済論	2
ミクロ経済学	2			技術経営	2	国際経済学	2
				オペレーションズ・リサーチ	2	国際政治経済学	2
				イノベーション 特殊講義	2	開発経済学	2
						経済学 特殊講義	2
ソーシャルアントレプレナーシップ	2	APMフィールド・スタディ	2	ビジネスケース分析・コミュニケーション	2	ビジネスインターンシップ	2
ビジネスデータ分析	2	特殊講義 (専門教育科目)	2	経営情報システム	2	プロジェクト研究	2
				専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅱ	2
						卒業研究	2
						卒業論文	4

げんごきょういく たいへいようがくぶ こくさいけいえいがくぶ
② 言語教育 (アジア太平洋学部・国際経営学部)

にゅうがく がくせい にゅうがくきじゆんげんご ほんたい げんご にほんごきじゆんがくせい えいご えいごきじゆんがくせい にほんご りしゅう
 APUに入学した学生は、入学基準言語と反対の言語（日本語基準学生は英語、英語基準学生は日本語）を履修する
 ひつよう ありまふ。履修開始レベルは、新入学時のプレースメントテストによって決定されます。卒業に必要な言語教育科
 むく ひつしゅうかもく たんいすう しゅうとく だいがく じどう りしゅうとうろく おこな ひつしゅうかもく しゅうとく お あと きぼう
 目（必修科目）の単位数を修得するまでは、大学が自動で履修登録を行います。必修科目の修得を終えた後は、希望
 に応じてさらに高いレベルの科目を履修することも可能です。
 げんごきょういくかもく りしゅう げんごきょういくかもく りしゅう げんごきょういくかもく りしゅう
 言語教育科目の履修は APU での重要な学びの1つです。入学後の新入生向け開講前手続セミナー期間中に実施される
 げんご げんご げんご
 言語ガイダンスにて詳細を説明しますので、必ず参加してください。

にほんごかもく
(1) 日本語科目

か もくめい たん い すう 科目名 (単位数)		ひつしゅう せんたく 必修・選択	とうろく 登録
にほんご じょうきゅう 日本語初級 I・II・III (4) × 3 科目		ひつしゅう 必修	じどうとうろく 自動登録
ごうかく めんじよ ↓合格・免除			
にほんご ちゅうきゅう 日本語中級 (4)		ひつしゅう 必修	じどうとうろく 自動登録
ごうかく めんじよ ↓合格・免除			
にほんご ちゅうじゅうきゅう 日本語中上級 (4)			
ごうかく めんじよ ↓合格・免除			
にほんご じょうきゅう 日本語上級 (4)			
ごうかく めんじよ ↓合格・免除			
せんしゅうげんご 専修言語			
にほんご キャリア日本語 (4)	にほんご 日本語プロジェクトD (2)	せんたく 選択	がくせい とうろく 学生が登録
にほんご 日本語ビジネスコミュニケーションA (2)	にほんご 日本語プロジェクトE (2)		
にほんご 日本語ビジネスコミュニケーションB (2)	にほんご 日本語プロジェクトF (2)		
にほんご にほんぶんか 日本語・日本文化 (2)	こうぎ にほんご 講義の日本語 (2)		
にほんご にほんしゃかい 日本語・日本社会 (2)			
せんしゅうげんご 専修言語			
にほんご ちゅうきゅうしゅうりょう 日本語中級修了かつ 日本語中上級未修了			
にほんご 日本語プロジェクトC (2)			
にほんご ちゅうきゅうしゅうりょう 日本語中級修了かつ 日本語上級未修了			
にほんご 日本語プロジェクトA (2)			
にほんご 日本語プロジェクトB (2)			

えいごかもく
(2) 英語科目

えいご
英語スタンダードトラック

か もくめい たん い すう 科目名 (単位数)		プレースメントの目安 (TOEFL ITP® Test)	ひつしゅう せんたく 必修/選択	とうろく 登録
えいご じょうきゅう 英語初級A (4)	えいご じょうきゅう 英語初級B (2)	310-419	ひつしゅう 必修	じどうとうろく 自動登録
えいご じゅうちゅうきゅう 英語準中級A (4)	えいご じゅうちゅうきゅう 英語準中級B (2)	420-459	ひつしゅう 必修	じどうとうろく 自動登録
えいご ちゅうきゅう 英語中級A (4)	えいご ちゅうきゅう 英語中級B (2)	460-479	ひつしゅう 必修	じどうとうろく 自動登録
えいご じゅうじゅうきゅう 英語準上級A (4)	えいご じゅうじゅうきゅう 英語準上級B (2)	480-499	ひつしゅう 必修	じどうとうろく 自動登録
せんしゅう げんご 言語	えいご 英語ビジネス・ライティング (2)	/	せんたく 選択	がくせい とうろく 学生が登録
	えいご 英語ビジネス・プレゼンテーション (2)			
	えいご 英語プロジェクト1 (2)			
	えいご 英語ディスカッションとディベート (2)			
	えいご ジャーナリズムのための英語 (2)			

英語アドバンストラック

科目名 (単位数)		プレイメントの目安 (TOEFL®/ITP)	必修/選択	登録
英語上級 1 A (4)	英語上級 1 B (2)	500-524	必修	自動登録
英語上級 2 A (4)	英語上級 2 B (2)	525-550	必修	自動登録
専修 言語	ビジネス英語 1 (2)	/	選択	学生が登録
	ビジネス英語 2 (2)			
	英語多読 (2)			
	英語プロジェクト 2 (2)			
	メディアのなかの英語 (2)			

「英語上級 1 A・1 B」の単位修得後、アドバンストラックの専修言語の履修が可能です。

- 専修言語は、卒業に必要な英語を修了した学生がさらに高度な言語能力の向上を目指すために設けられています。

(3) アジア太平洋言語 (AP 言語)

アジア太平洋言語 (AP 言語) として、中国語、韓国語、マレー語・インドネシア語、スペイン語、タイ語、ベトナム語の 6 言語を開講しています。AP 言語を履修するためには、下記の条件を満たす必要があります。

- 履修条件
 - ・履修を希望する言語が母語でないこと。
 - ・日本語基準学生は、「英語初級 A」「英語初級 B」、英語基準学生は「日本語初級 I」「日本語初級 II」「日本語初級 III」を単位修得済み、もしくは履修免除済みであること。

③ 入学前単位認定について

APUでは多様な機会を通じて積極的に学修する意義を確認し、入学前（2年生・3年生編転入生を除く）における「他大学等での学修」に対して、一定の基準を設けて単位認定を行なっています。

● 単位認定条件

以下の場合に限り、入学前の他大学等における学修に対して、30単位を上限に単位認定を行ないます。

- ・ APUに入学する前に、他の大学や短期大学において履修した科目の修得単位
- ・ APUに入学する前に、APUで「科目等履修生」として履修した科目の修得単位

● 申請時期

入学前単位認定は、入学直後の第1セメスター時の申請のみ有効となります。申請方法等の詳細情報に関しては、入学後に在学生向けのお知らせにてご確認ください。なお、申請には在籍大学のシラバスが必要になります。渡航前の準備をおすすめします。

● 認定方法

他大学等で修得した授業科目の内容を、科目概要やシラバス等によって確認し、APUにおける設置科目との対応関係を調べます。そのうえで、各学部の「カリキュラム全体図」に掲載しているAPU学則上の設置科目に読替えて認定を行ないます。

● 成績評価

認定された単位の成績評価は「T（Transfer：認定）」となり、GPA（Grade Point Average）には加算されません。

④ 編転入生について

編転入生（2年生／3年生）として入学される方については、前ページに記載されている言語履修や卒業要件等に関して、1年生とは一部異なる条件が適用されます。対象者の方には入学前に必要な案内をお送りいたします。

3) 授業料減免の継続審査

入学前に採用が決定した授業料減免については、入学後セメスターごとに成績による継続審査を行います。継続審査の結果、基準を満たさない場合は授業料減免を取り消しますので、受給者は、奨学生にふさわしい学業成績を修められるよう入学後も勉学に励んでください。また、年1回実施される健康診断を受診しなかった場合、授業料減免が停止になります。継続審査についての詳細は、入学時の講座で詳しく説明しますので必ず出席してください。